

滞在した国においてどのように過ごすかにもよりますが、留学先の学生などのその国の人々と話す中で、日本とは異なるその国の語学習得やそのプログラム内で想定されている学び以外のことについて、何が学べると思われますか。

現在、世界のことは書籍やインターネット等でかなり知ることができますが、異文化を理解するためにはやはり実際にその国に滞在し、その国の人々と交流をもち、人々の価値観や習慣を直接知ることにおいて当然と考えられることを相対的に見ることができます。また、言語を、直接的に身体を通して習得することができ、いわゆる生きた語学力が身についてくると期待できます。

——学生が留学をすることの良さについて、教員側からはどういったことが考えられますか。

人々の持つ価値観を直接学ぶことができます。さらに、「外国人としての自分」を体験することができ、珍しがられる、異文化として阻害されるという経験は貴重です。

——留学の経験が、今後の学生生活、ひいては人生にどの様に役立つと思われますか。

私たちには、自分では自由に自分のことを決定していると信じていますが、「しなければならない」とり縛られています。留学は、それを相対的に眺めることを可能になります。そして、その呪縛から解放されると、より自由な視点を取ることができるようになると思いま

る。しかし、留学から帰ってくると、特に女子においてそういう同

調圧力から解放されたという印

象を受けることがあります。

——教員から見て、学生の留学後の印象・行動に変化は見られますか。

よくいわれている「日本は同

文化研究の立場から疑義もありま

す。しかし、留学から帰ってくると、特に女子においてそういう同

調圧力から解放されたという印

象を受けることがあります。

——留学をしようと思ったきっかけや理由は何ですか。

ドイツ語の授業でドイツの文化や生活を知っていくうちに、実際に現地に行って体験してみたいと思つたことがきっかけです。私は海外旅行もほとんどしたことがなかつたので、見知らぬ土地で1ヶ月もやつていけるのかという不安が大きかつたのですが、周りの友人たちが参加することに背中を押され、留学を決意しました。結果的に刺激的で楽しい毎日を送ることができ、この留学は大正解だったと感じています。

——留学先で学んだこと、勉強以外で経験したことを含めた留学先でのエピソードをお願いします。

留学では午前にドイツ人の先生による授業を受け、午後に日本人の先生による補講とチュートリウムに参加します。放課後や休日には大学が用意しているプログラム（教会や博物館に行きました）に参加したり、自分たちで観光名所を訪ねたり、ドイツができることを目一杯堪能しました。私は食にも興味を持っていたので、カリー、ラストなど現地の美味しい料理を食べることができたのもうれしかったです。ドイツでの生活は言語の壁を感じることもありました

が、友人たちと助け合いながら充

実した1ヶ月を過ごすことができ

ました。

——語学習得やそのプログラム内

で想定されている学び以外のことについて、何が学べると思われますか。

よく目的意識がないままに留学しても意味がないといわれます。しかし、逆に目的意識にとらわれすぎると何もできなくなります。がないか、とりあえず行ってみよう」で十分です。

留学してみるとその重要なはずの目的がつまらないものだったといふこともあります。「何か面白いものがいい」とりあえず行ってみ

る過ごすかもりますが、留学先の学生などのその国の人々と話す中で、日本とは異なるその国



留学担当教員
山祐嗣先生



Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C

X

Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C

X

Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C

X

Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C

X

Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C

X

Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C

X

Q

W

E

R

T

Y

U

I

O

P

H

J

K

L

M

N

S

D

F

G

B

V

Z

C